

様式2 令和2年度新座市学校評価システム

自己評価書【中間評価】

新座市立 第六中 学校

評価 欄の 凡例	A: 9割以上の達成状況である。かなり高いレベルでできている。
	B: 6割以上9割未満の達成状況である。概ね規準に達している。
	C: 2割以上6割未満の達成状況である。規準には達していない。 B・Dの間の評価。
	D: 2割未満の達成状況である。ほとんどできていない。

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況										評価 ポイント (1~4点)	評価
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%		
個 に 応 じ た 指 導	1	学校は、生徒の自己有用感を高め、確かな学力と社会性を身に付けさせるために指導法の工夫、改善に努めている。											3.31	B
	2	学校は、特別な教育的ニーズの把握に努め、それぞれの特性に応じた支援を行っている。											3.25	B
	3	学校は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の連携協力による教育相談を適切に実施している。											3.58	A
組 織 運 営	4	学校は、校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。											3.19	B
	5	学校は、学校経営方針を具現化するために学校評価の実施等を通じてPDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。											3.17	B
	6	学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。											3.36	B
学 力 向 上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。											3.47	A
	8	学校は、各教科の指導において言語活動を充実した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。											3.18	B
	9	学校は、学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。											3.27	B
	10	学校は、英語(英会話)の授業を充実するなどグローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。											3.24	B
豊 か な 心 の 育 成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつしたり、「です、ます」をつけるなど場に応じた言葉遣いを実践したりできるよう指導し、成果をあげている。											3.11	B
	12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って、学校生活を送れるような環境を整備している。											3.44	A
	13	学校は、教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。											3.19	B
体 健 力 の 向 上	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。											3.33	B
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。											3.31	B
と 保 護 者 ・ 地 方 域	16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。											3.29	B
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで教育活動の様子や、成果・課題などについて定期的に情報提供している。											3.22	B
	18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。											3.26	B